

Kガード+9の特徴と他製品との相違点

『K・ガード+9』は、

オゾンに次ぐ殺菌力を持つ塩素性剤を、安定・安心・安全に使用出来るように研究開発された製品です。発売開始から約10年の間、有害報告もなくお客様から信頼と実績を得ております。

特徴は、

- ① 次亜塩素水に比べ減衰率が低く品質保証期間2年を実現した。
- ② 残留塩素を極力なくす事により「二酸化塩素」と「次亜塩素酸ナトリウム」の欠点を克服。
- ③ 殺菌力を増強する為に、pHを11.0以上に引き上げている。
- ④ 手の消毒用に使えるように、安全と殺菌が両立する濃度200ppmに設定した。
- ⑤ これらの特性により、ウイルス、菌、真菌（カビ）には効力を発揮しながら、生物膜を有するもの（人体、ペット及び小さな生物）にとっては、ほぼ水と同じ安全性を実現した。

『K-ガード+9』は 以下の類似品とは全く違う製品ですので、どうぞ安心してご使用ください。

【二酸化塩素】

- ・本来の用途は水の殺菌剤。
- ・空気洗浄は認められていない。
- ・人体への使用は認められていない。
- ・酸性域で効力を発揮する。
- ・ガス化し易く、水溶液の減衰率も高い。

【次亜塩素水】

- ・強酸性（pH2.7以下）、弱酸性（pH2.7～5.0）、微弱酸性（pH5.0～6.0）の3タイプがあり、主に微弱酸性の商品が多い。
- ・国の規格では濃度の上限は80ppm。この為安全で使い易いとされている。
- ・減衰率が高く長期貯蔵には不向き。

【次亜塩素酸ナトリウム】

- ・上記2品との比較では一番安定しており、減衰率は低い。
- ・5%（50,000ppm）を超えるものは、腐食性危険物とされている。
- ・コロナ対策品には認められているが、人体への使用は不可。
- ・アルカリ域で効力を発揮する。